

株価研究

ウイルグループ(6089)

第207回

ウイルグループ(6089)は人材派遣・業務請負などの人材サービスを展開している。そんな中で介護・医療・福祉・保育分野を担っているのが、ウイルオブ・ワーク。

2012年に看護師紹介に踏み出した。が先行する競合他社の高シェアや、売り手市場ならでのマッチングの難易度から決して容易ではなかった。が歩を進めるなかで、複数の病院からこんな需

が運営する介護施設の介護職需要は高い。「高齢

化社会到来」の指摘が始まった時期だった。ウイルグループは「時代の流れ」に賭し、看護師紹介から介護職派遣に舵を切った。

機を見るに敏。担当者は「有資格者・経験者・夜勤を含むフルタイム人材へのニーズが約半数」とした上でこう続けた。

「身体介助以外でも居室清掃や移動時の付き添いなど介護助手への需要も増加傾向にあり、アクティブシニアの活躍機会も

介護職派遣、研修に強み

増えている。病院系介護施設や特養・老健・有料老人ホーム・グループホームなどの入居施設への派遣の割合が着実に増えている」。

派遣には一定期間後「正社員雇用も可能」という枠組み(紹介予定派遣)がある。自分にあった職場かどうかを見極めたいという求職者と、会社に合った人材かを見極めたい求人側の双方にメリットがある。ウイルグループでは「通常の派遣契約でも、双方の意向が合致し期間満了後に直接契約に至るケースも少なくない」とした。

最も効率的な流れと言えよう。そうした現実を生み出すために不可欠なのが、全国46の営業支店のマッチング体制。こん

な風に行われている。

求人応募者に対しコーディネーターやエージェントと称される社員が電話や対面で接触。希望条件のヒアリング・求人条件の聞き取りだけでなく、施設の特徴や職場環境・人員構成なども詳細に尋ねる。応募者側には条件項目の優先度やキャリア、転職動機まで子細に検証。その上で応募者が希望すれば複数の求人

を提示する。ウイルグループの介護派遣の施策は「WILL OF ケアアカデミー」 「Kind」に象徴的。前者は派遣スタッフ向け通学教室、そして施設職員向け講師出張型資格(介護福祉士受験実務、喀痰吸引等)研修。後者は介護実習生雇用支

援サービスと、特定技能外国人の紹介及び登録支援機関としての外国人支援業務の受託サービス。特定技能外国人は1年間で約8000人増加している現状。同社では「介護人材派遣に次ぐ注力事業」としている。

時価10000円トビ台。好配当利回り3・2%余りを享受、戻り過程待ちか。



経済評論家 千葉 明

〈筆者プロフィール〉
1949年生まれ。明治大学経済学部卒。「プレジデント」「ネットマナー」等の雑誌を中心に活躍中。「野村証券・企業部」「ザ・ノンバンク」「一流の経営」など著書多数。